

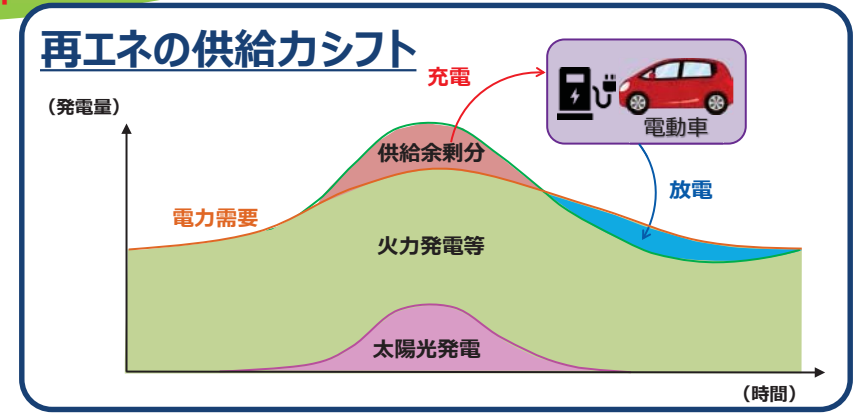
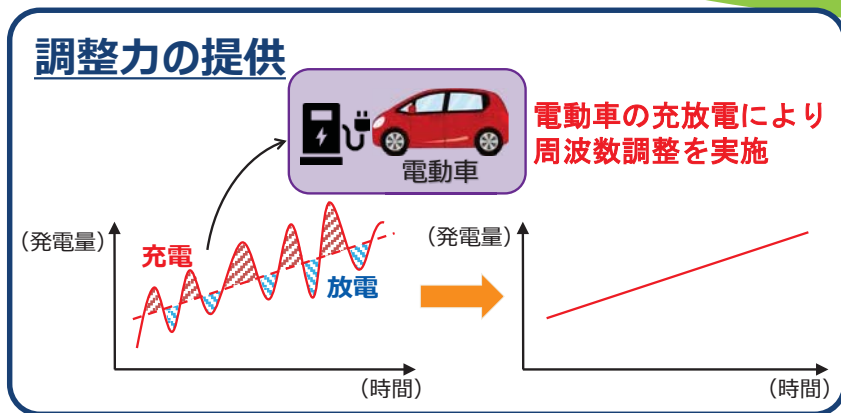
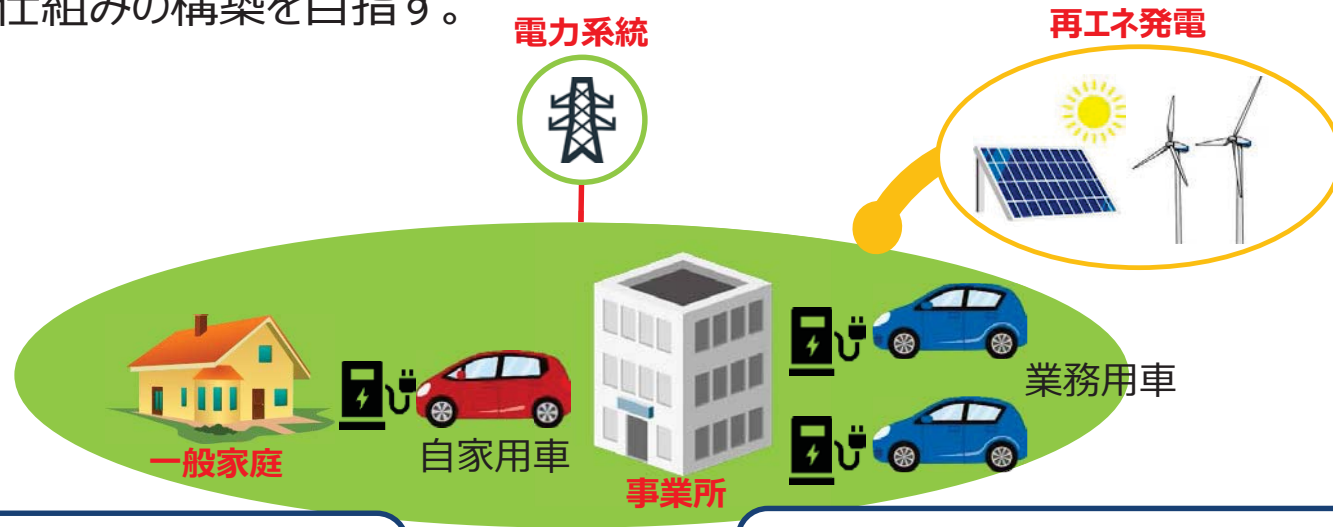
添付資料：本実証事業の概要

豊田通商株式会社

中部電力株式会社

本実証事業の目的

再エネの普及拡大に伴い、今後、出力変動の増大や余剰電力の発生が想定される。
このため、電動車の車載蓄電池を束ねて充放電させることにより、調整力や再エネの供給カシフト等として
電動車を利活用する仕組みの構築を目指す。



- 環境負荷の低い電動車の普及、ユーザへの電動車・充放電器の新たな価値の提供
- 新たな調整力リソースの確保、リソース多様化による需給調整コストの低減

→ 低炭素社会の実現、電力の安定供給への貢献

本実証事業の内容、システム構成

① V 2 G 制御システムの開発（豊田通商）

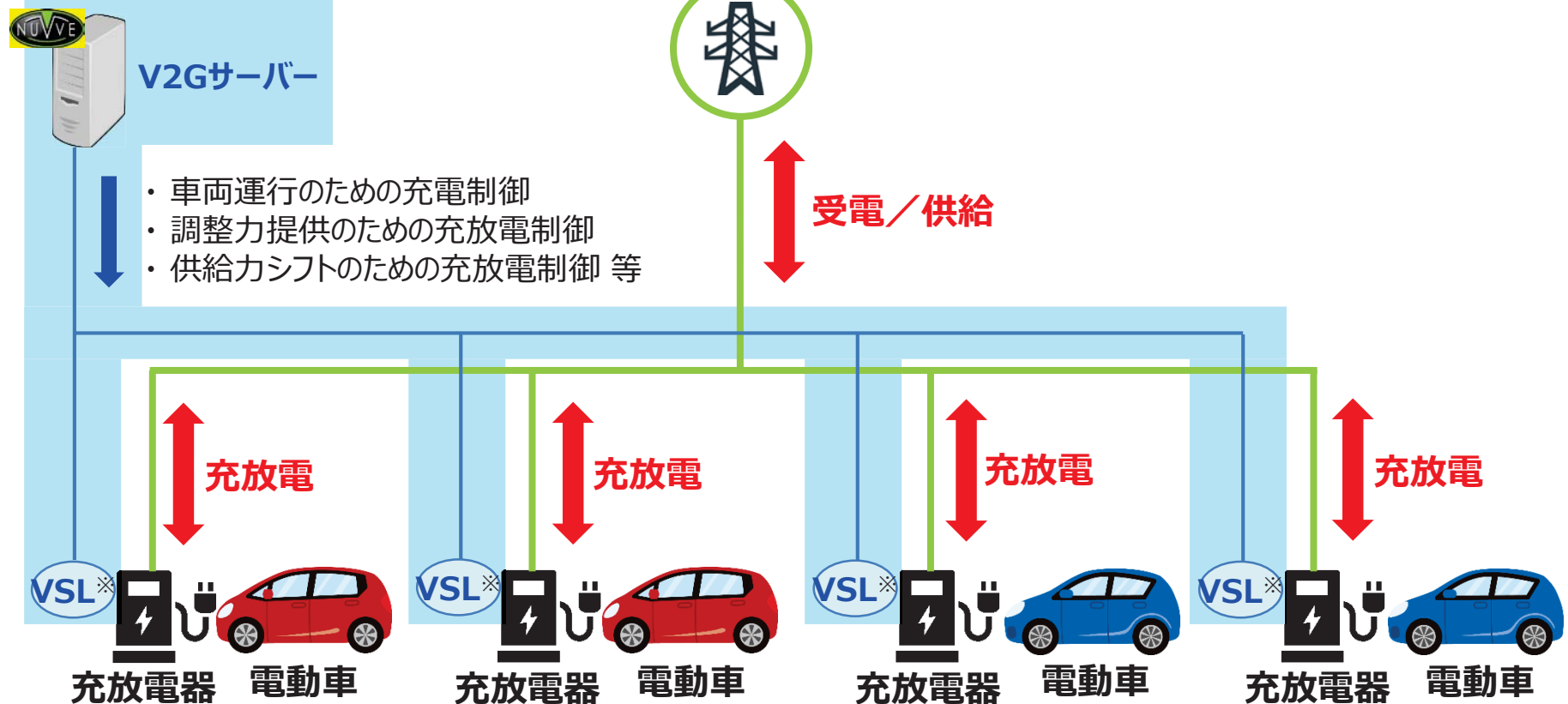
- ✓ 豊田市の駐車施設に電力系統へ逆潮流可能な充放電器を設置。
- ✓ ノービー社製の V 2 G サーバーと充放電器を連携させ、V 2 G 制御システム（電動車アグリゲーションシステム）を構築。

② 電力系統への影響評価（豊田通商、中部電力）

- ✓ V 2 G 制御システムからの指令に基づき、調整力としての応動性能を評価。
- ✓ 充放電器からの逆潮流に伴う電力系統への影響を評価。

V 2 G 制御システム

…複数台の電動車を充放電制御



※ VSL (Vehicle Smart Link) : ノービー社が開発したV2Gサーバーとの通信基板

本実証事業のスケジュール

| | 2018年度 | |
|--------------|---|----|
| | 上期 | 下期 |
| V2G制御システムの開発 |  採択後～2018年10月頃 | |
| 充放電試験結果分析 |  2018年10月頃～2019年2月頃 | |
| 報告書提出 |  2019年2月頃 | |